【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【公開番号】特開2014-59640(P2014-59640A)
【公開日】平成26年4月3日(2014.4.3)
【年通号数】公開・登録公報2014-017
【出願番号】特願2012-203237(P2012-203237)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｑ　30/06　(2012.01)
Ｇ０６Ｑ　50/10　(2012.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｑ　30/06　１６０
Ｇ０６Ｑ　50/10　１６０

【手続補正書】
【提出日】平成26年6月3日(2014.6.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
場所の利用時間枠として定められた複数の時間枠の中から、ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の予約可能な時間枠を検索する第１検索手段と、
予約済みの時間枠を少なくとも１つ含む前記ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の時間枠であって、前記予約済みの時間枠を予約した他のユーザが前記予約済みの時間枠の移動を受け入れることにより予約可能になる可能性がある時間枠を検索する第２検索手段と、
前記第１検索手段による検索結果と、前記第２検索手段による検索結果とを、互いに区別可能な態様で提示させる提示制御手段と、
を備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
請求項１に記載の情報処理装置において、
前記第２検索手段により検索された時間枠が予約可能になる蓋然性を推定する推定手段を更に備え、
前記提示制御手段は、前記推定手段により推定された前記蓋然性に基づいて、前記第２検索手段により検索された時間枠の情報の提示態様を制御することを特徴とする情報処理装置。
【請求項３】
請求項２に記載の情報処理装置において、
前記推定手段は、前記第２検索手段により検索された時間枠に含まれる前記予約済みの時間枠の数に基づいて、前記蓋然性を推定することを特徴とする情報処理装置。
【請求項４】
請求項２又は請求項３に記載の情報処理装置において、
前記推定手段は、前記第２検索手段により検索された時間枠に含まれる前記予約済みの時間枠における前記場所の利用が予定される人数に基づいて、前記蓋然性を推定することを特徴とする情報処理装置。
【請求項５】

請求項２乃至４の何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記推定手段は、前記第２検索手段により検索された時間枠に含まれる１以上の前記予約済みの時間枠のそれぞれを予約した他のユーザを特定し、前記予約した他のユーザの数に基づいて、前記蓋然性を推定することを特徴とする情報処理装置。
【請求項６】
請求項２乃至５の何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記推定手段は、前記第２検索手段により検索された時間枠に含まれる前記予約済みの時間枠から、前記第２検索手段により検索された時間枠を除く予約可能な時間枠までの移動幅に基づいて、前記蓋然性を推定することを特徴とする情報処理装置。
【請求項７】
請求項２乃至６の何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記推定手段は、前記他のユーザが検索を要求してから前記他のユーザが前記予約済みの時間枠を予約するまでに要した時間に基づいて、前記蓋然性を推定することを特徴とする情報処理装置。
【請求項８】
請求項２乃至７の何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記推定手段は、前記他のユーザによる前記予約済みの時間枠の予約までに前記他のユーザが検索を要求した回数に基づいて、前記蓋然性を推定することを特徴とする情報処理装置。
【請求項９】
請求項２乃至８の何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記推定手段は、前記予約済みの時間枠の検索のために前記他のユーザが検索条件として指定した時間帯のうち、前記第２検索手段により検索された時間枠を除く範囲の予約状況に基づいて、前記蓋然性を推定することを特徴とする情報処理装置。
【請求項１０】
請求項２乃至９の何れか１項に記載の情報処理装置において、
予約された時間枠を含む予約実績を、予約したユーザを識別する識別情報に関連付けて記憶する予約実績記憶手段から、前記他のユーザの前記識別情報に関連付けられた前記予約実績を取得する実績取得手段を更に備え、
前記推定手段は、前記実績取得手段により取得された前記予約実績から得られる予約の傾向に基づいて、前記蓋然性を推定することを特徴とする情報処理装置。
【請求項１１】
請求項１０に記載の情報処理装置において、
前記推定手段は、前記他のユーザが前記第２検索手段により検索された時間枠を除く予約可能な時間枠を予約する傾向に基づいて、前記蓋然性を推定することを特徴とする情報処理装置。
【請求項１２】
請求項９乃至１１の何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記推定手段は、前記第２検索手段により検索された時間枠を除く予約可能な時間枠に隣接する時間枠が予約済みの時間枠である場合、前記他のユーザが予約済みの時間枠に隣接する時間枠を予約する傾向に基づいて、前記蓋然性を推定することを特徴とする情報処理装置。
【請求項１３】
請求項２乃至１２の何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記場所は競技施設であり、
前記推定手段は、前記第２検索手段により検索された時間枠を除く予約可能な時間枠の直前の時間枠が予約済みの時間枠である場合、前記直前の時間枠を利用する競技者の競技の技量に基づいて、前記蓋然性を推定することを特徴とする情報処理装置。
【請求項１４】
請求項２乃至１３の何れか１項に記載の情報処理装置において、

前記推定手段は、前記他のユーザの住所から前記場所までの移動容易性に基づいて、前記蓋然性を推定することを特徴とする情報処理装置。
【請求項１５】
請求項２乃至１４の何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記第２検索手段により検索された時間枠であって前記ユーザにより要求された時間枠に含まれる前記予約済みの時間枠の移動を受け入れた前記他のユーザに対して付与される特典を決定する決定手段であって、前記推定手段により推定された前記蓋然性が低いほど、価値が高い特典を決定する決定手段を更に備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項１６】
請求項１乃至１５の何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記第２検索手段により検索された時間枠を希望時間枠として含む前記ユーザからの予約要求を取得する予約要求取得手段と、
前記予約要求取得手段により取得された前記予約要求に含まれる前記希望時間枠に含まれる前記予約済みの時間枠を予約した前記他のユーザへの時間枠の移動依頼の通知を出力する依頼通知出力手段と、
前記他のユーザからの時間枠の移動の受け入れの通知を取得する受け入れ通知取得手段と、
前記受け入れ通知取得手段により前記受け入れの通知が取得された場合、前記希望時間枠が予約可能な時間枠になることの前記ユーザへの通知を出力する可能通知出力手段と、
を更に備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項１７】
請求項１乃至１５の何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記第２検索手段により検索された時間枠を希望時間枠として含む前記ユーザからの予約要求を取得する予約要求取得手段と、
前記他のユーザが時間枠の移動先として受け入れる時間帯を取得する時間帯取得手段と、
前記時間帯取得手段により取得された時間帯のうち前記予約要求取得手段により取得された前記予約要求に含まれる前記希望時間枠を除く範囲が、前記予約済みの時間枠の移動先として予約可能な時間枠を含む場合、前記希望時間枠が予約可能な時間枠になることの前記ユーザへの通知を出力し、前記予約済みの時間枠が移動されることの前記他のユーザへの通知を出力する出力手段と、
を更に備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項１８】
コンピュータにより実行される情報処理方法であって、
場所の利用時間枠として定められた複数の時間枠の中から、ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の予約可能な時間枠を検索する第１検索ステップと、
予約済みの時間枠を少なくとも１つ含む前記ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の時間枠であって、前記予約済みの時間枠を予約した他のユーザが前記予約済みの時間枠の移動を受け入れることにより予約可能になる可能性がある時間枠を検索する第２検索ステップと、
前記第１検索ステップによる検索結果と、前記第２検索ステップによる検索結果とを、互いに区別可能な態様で提示させる提示制御ステップと、
を含むことを特徴とする情報処理方法。
【請求項１９】
コンピュータを、
場所の利用時間枠として定められた複数の時間枠の中から、ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の予約可能な時間枠を検索する第１検索手段、
予約済みの時間枠を少なくとも１つ含む前記ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の時間枠であって、前記予約済みの時間枠を予約した他のユーザが前記予約済みの時間枠の移動を受け入れることにより予約可能になる可能性がある時間枠を検索する第２

検索手段、及び、
前記第１検索手段による検索結果と、前記第２検索手段による検索結果とを、互いに区別可能な態様で提示させる提示制御手段、
として機能させることを特徴とする情報処理プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記課題を解決するために、請求項１に記載の発明は、場所の利用時間枠として定められた複数の時間枠の中から、ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の予約可能な時間枠を検索する第１検索手段と、予約済みの時間枠を少なくとも１つ含む前記ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の時間枠であって、前記予約済みの時間枠を予約した他のユーザが前記予約済みの時間枠の移動を受け入れることにより予約可能になる可能性がある時間枠を検索する第２検索手段と、前記第１検索手段による検索結果と、前記第２検索手段による検索結果とを、互いに区別可能な態様で提示させる提示制御手段と、を備えることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の時間枠が予約済みの時間枠を少なくとも１つ含む場合、予約済みの時間枠を予約した他のユーザが予約済みの時間枠の移動を受け入れれば、ユーザの要求に応じた連続する２以上の時間枠を予約することができる。従って、他のユーザが予約済みの時間枠の移動を受け入れる可能性があれば、ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の時間枠も予約可能になる可能性がある。この発明によれば、予約可能になる可能性がある連続する２以上の時間枠の検索結果が、予約可能な連続する２以上の時間枠の検索結果とは区別可能な態様で提示される。そのため、連続する２以上の時間枠を予約しやすくすることができる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
この発明によれば、ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の時間枠に含まれる予約済みの時間枠で利用が予定される人数に基づいて、予約可能になる蓋然性が推定される。そのため、時間枠の移動のための利用者の日程調整の負担を、予約可能になる可能性がある連続する２以上の時間枠の情報の提示態様に反映させることができる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
この発明によれば、ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の時間枠に含まれる１以上の予約済みの時間枠の予約者の合計に基づいて、予約可能になる蓋然性が推定さ

れる。予約者ごとに、時間枠の移動が受け入れられる蓋然性が推定されると考えた場合、予約可能になる蓋然性は、時間枠の移動を受け入れられる蓋然性の積になる。従って、このような事情を、予約可能になる可能性がある連続する２以上の時間枠の情報の提示態様に反映させることができる。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３４】
請求項１５に記載の発明は、請求項２乃至１４の何れか１項に記載の情報処理装置において、前記第２検索手段により検索された時間枠であって前記ユーザにより要求された時間枠に含まれる前記予約済みの時間枠の移動を受け入れた前記他のユーザに対して付与される特典を決定する決定手段であって、前記推定手段により推定された前記蓋然性が低いほど、価値が高い特典を決定する決定手段を更に備えることを特徴とする。
この発明によれば、予約済みの時間枠の移動を受け入れた他のユーザに付与される特典の価値が、ユーザにより要求された連続する２以上の時間枠が予約可能になる蓋然性に応じて決定される。そのため、予約済みの時間枠の移動を受け入れることの難しさに応じて、予約済みの時間枠の移動を受け入れた他のユーザが特典を得ることができる。
請求項１６に記載の発明は、請求項１乃至１５の何れか１項に記載の情報処理装置において、前記第２検索手段により検索された時間枠を希望時間枠として含む前記ユーザからの予約要求を取得する予約要求取得手段と、前記予約要求取得手段により取得された前記予約要求に含まれる前記希望時間枠に含まれる前記予約済みの時間枠を予約した前記他のユーザへの時間枠の移動依頼の通知を出力する依頼通知出力手段と、前記他のユーザからの時間枠の移動の受け入れの通知を取得する受け入れ通知取得手段と、前記受け入れ通知取得手段により前記受け入れの通知が取得された場合、前記希望時間枠が予約可能な時間枠になることの前記ユーザへの通知を出力する可能通知出力手段と、を更に備えることを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３６】
請求項１７に記載の発明は、請求項１乃至１５の何れか１項に記載の情報処理装置において、前記第２検索手段により検索された時間枠を希望時間枠として含む前記ユーザからの予約要求を取得する予約要求取得手段と、前記他のユーザが時間枠の移動先として受け入れる時間帯を取得する時間帯取得手段と、前記時間帯取得手段により取得された時間帯のうち前記予約要求取得手段により取得された前記予約要求に含まれる前記希望時間枠を除く範囲が、前記予約済みの時間枠の移動先として予約可能な時間枠を含む場合、前記希望時間枠が予約可能な時間枠になることの前記ユーザへの通知を出力し、前記予約済みの時間枠が移動されることの前記他のユーザへの通知を出力する出力手段と、を更に備えることを特徴とする。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
請求項１８に記載の発明は、コンピュータにより実行される情報処理方法であって、場所の利用時間枠として定められた複数の時間枠の中から、ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の予約可能な時間枠を検索する第１検索ステップと、予約済みの時間枠を少なくとも１つ含む前記ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の時間枠であって、前記予約済みの時間枠を予約した他のユーザが前記予約済みの時間枠の移動を受け入れることにより予約可能になる可能性がある時間枠を検索する第２検索ステップと、前記第１検索ステップによる検索結果と、前記第２検索ステップによる検索結果とを、互いに区別可能な態様で提示させる提示制御ステップと、を含むことを特徴とする。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
請求項１９に記載の発明は、コンピュータを、場所の利用時間枠として定められた複数の時間枠の中から、ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の予約可能な時間枠を検索する第１検索手段、予約済みの時間枠を少なくとも１つ含む前記ユーザの要求に応じて決定される連続する２以上の時間枠であって、前記予約済みの時間枠を予約した他のユーザが前記予約済みの時間枠の移動を受け入れることにより予約可能になる可能性がある時間枠を検索する第２検索手段、及び、前記第１検索手段による検索結果と、前記第２検索手段による検索結果とを、互いに区別可能な態様で提示させる提示制御手段、として機能させることを特徴とする。